

Info for Wood Export
海外市場情報



Vol. 2, No.5, 2007

2007年5月18日発行

中国家具産業第 11 次五ヵ年発展計画発表

中国家具協会はこのほど、中国家具産業の第 11 次五ヵ年(2006 - 2010 年)発展計画を発表した。

この計画は、第 10 次五ヵ年期中における家具産業の発展状況、主要課題、第 11 次五ヵ年期中における国内外の家具市場分析、国内の家具需要予測、家具産業の発展目標及び目標達成の施策といった内容から構成される。ここに、その要点を紹介したい。

1. 第 10 次五ヵ年期中における家具産業の発展状況

2005 年の家具の国内生産高は 3,400 億元に達し、2000 年の 1,200 億元より 1.83 倍増加し、年間平均伸び率は 23% であった。

家具の輸出では、2005 年に 137.6 億 USD にのぼり、2000 年の 35.6 億 USD より約 2.8 倍増加し、年間平均伸び率は約 32% であり、中国は家具輸出大国として注目されている。

輸入においては、2005 年に 6.8 億 USD であり、2000 年の 1.5 億 USD より 3.5 倍増加している。

第 10 次五ヵ年期中における中国家具産業の主要指標

年別	生産高		輸出		輸入	
	億元	前年比 (%)	億 USD	前年比 (%)	億 USD	前年比 (%)
2000	1,200	15.4	35.65	31.5	1.51	57.3
2001	1,400	16.6	39.68	11.3	1.74	15.2
2002	1,650	17.8	54.17	36.5	1.94	11.5
2003	2,040	23.6	73.33	35.4	5.75	196.4
2004	2,730	34.1	103.53	39.3	7.26	26.3
2005	3,400	27.9	137.65	33.0	6.84	-5.8

出所：中国家具協会

中国家具協会によると、現在、家具企業は5万社余り在り、従業者数は約500万人にのぼる。広東、浙江、山東、河北、四川各省には家具の生産、販売団地が形成され、山東省寧津県の木製家具の生産は国内外から注目されている。家具流通においては、面積1万㎡以上の「家具商城」という販売市場が3000余、5万㎡以上の市場が300余ある。上海、広州、東莞、深圳開催の家具展覧会は家具の見本市として国内外に知られる。

2. 家具産業の主要課題

新たな発展を図る中国家具産業は、次のような課題に直面している。

- ・ 中小企業が多く、管理が遅れている。
- ・ 製造の産業化レベルが低く、海外から先進機械、設備を大量に購入したが利用率が低い。
- ・ 中級、低級品の生産過剰で、高級家具の設計、生産、供給が不足している。
- ・ 自社販売が多く、実力ある流通企業が少ない。
- ・ 低価格の輸出が多く、輸出が米国に集中している。

3. 国内の家具需要予測

全国の第5次人口調査によると、現在全国の世帯数は34,837万にのぼる。家具の買い替え期間が10年、世帯あたりの家具消費額が1,000元という条件で試算すれば、家具の買い替えの年間総額は348億元に達すると見込まれる。

第10次五カ年期における都市部の年間新規住宅は6億㎡であった。このような規模の住宅新規建設が第11次五カ年期にも維持されること、入居に伴い家具を新たに購入する世帯が住宅購入世帯の8割あること、新購入住宅1㎡あたりの家具購入額が100元であることを条件に試算すれば、都市部の年間住宅の新規建設に伴う家具の消費額は600億元に達するとみられる。

現在全国に中高レベルのホテルが2000あり、年間30万セットの客室の家具が新調されると見られる。その数字に新規建設のホテルの家具需要を加えれば、年間30億元前後になると見込まれる。

オフィス用家具では、年間需要額が400億元以上にのぼるとみられる。

また、家具の輸出額の増加がこれまでの伸び率を維持し、20%以上に達すると予測される。

4. 家具産業の発展目標

中国家具協会は第11次五カ年期における発展目標を次のとおり掲げている。

- ・ 産業構造を改善し、分業化を進め、大手企業を主導、中小企業を主体とする合理的な分担、補完的な製品構造、生産の分業化と協業化を有する家具

産業構造を構築する。

- ・ コスト削減に努め、企業の管理水準及び家具の産業化を向上させる。
- ・ 家具生産量の年間伸び率が 15%前後を維持し、2010 年の家具生産高を倍増させる。
- ・ 家具輸出の年間伸び率が 20%を維持し、輸出相手国を増やし、輸出商品構造を調整させる。
- ・ 家具業界の自律を強化し、企業の環境保護と CSR を重視する。

5. 目標達成の施策

中国家具協会は、以上に掲げた目標を達成するために、次の対策を講じなければならないであろう。

- ・ 「自主创新」¹を堅持し、企業家の管理能力をアップさせ、家具生産の管理水準及び市場競争力を高める。
- ・ スケール化、専門化、集約化の生産団地を設立し、産業構造と製品構造を調整する。
- ・ 多様な方法で家具設計に関する交流を行い、家具設計事務所や家具設計研究センターを育成する。海外の家具設計機構や設計士との交流や協力を強化する。家具設計士評定制度を創設し、家具設計水準を高める。
- ・ 家具製造の現有設備の能力を発揮するとともに、生産設備の応用ソフトの開発を強化し、生産の自動化、産業化水準を高める。
- ・ 品質基準を強化し、企業の品質管理水準を高める。全国家具品質標準委員会を設立する。
- ・ 家具市場体系の構築を進め、家具流通業を改善する。
- ・ 家具に関する専門教育を広め、人材育成に力を入れる。

¹ 「自主创新」：技術・産業・サービス・環境・制度のイノベーションを自ら行うこと。